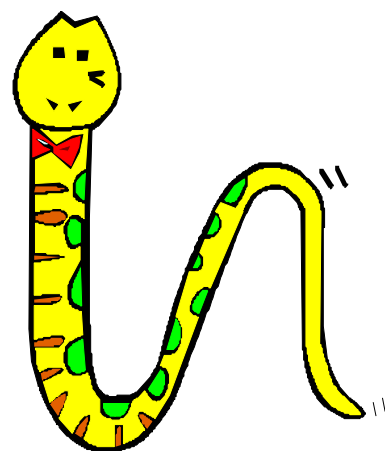


明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく
 お願いします。



今春受験する皆さんへ

年明けとともにすぐに受験がスタートします。今まで何年も培ってきたものを100%発揮出来るように、健康に注意して最後の最後まで気を引き締め受験に臨みましょう。決して悔いを残さないためにも受験当日まで精一杯頑張りましょう！「終わり良ければすべてよし」と言うこともあります。

道	長い人生にはなあ
みつを	どんなに避けようとしても
	どうしても通らなければ
	ならぬ道
	てものがあるんだ
	そんなときは その道を
	黙って歩くことだな
	愚痴や弱音を吐かないでな
	黙って歩くんだよ
	ただ黙って！
	涙なんか見せちゃダメだぜ！
	そしてなあ その時なんだよ
	人間としての いのちが根が
	ふかくなるのは・・・

2013年1月 予定表

1	火		17	木	
2	水		18	金	
3	木		19	土	福山市立中入試 大学入試センター試験
4	金	暁の星中入試 授業開始 冬期講習	20	日	大学入試センター試験
5	土		21	月	暁の星高入試
6	日	近畿大中	22	火	
7	月		23	水	
8	火		24	木	
9	水		25	金	
10	木		26	土	
11	金	おかやま山陽高 岡山龍谷入試	27	日	
12	土	盈新中 後期 盈進高 岡山龍谷入試	28	月	
13	日	近畿大中後期 銀河高入試	29	火	中1月例テスト 金光高入試
14	月		30	水	中2月例テスト
15	火	近畿大高入試	31	木	中3月例テスト
16	水				

今年の目標をたててみよう

1月はとてもあわただしい月です。子どもたちも同じで、お正月気分が抜けきらないまま、このあわただしさにまぎれてしまうと、勉強も手につかない間に1カ月があつという間に過ぎてしまいます。そこでこの時期にぜひともやっていただきたいのが自分に合った勉強の努力目標を立てることです。そうすれば、とかく無為に過ごしがちな時期が充実したものになります。

では実際の目標にはどんなものを上げるとよいか例をあげてみましょう。

小5までは勉強にかかわりのある事ならなら特に学校の勉強にそったものでなくてもよいと思います。本を何冊か読んでその感想文を書いてみるかとか、絵を描くとか、工作で何かを作るというのもよいでしょう。要は自分で決めたことに対して、投げ出さず真剣に取り組んでゆくことが大切なのです。こうすることで出来なかったことが出来るようになるという経験をする事ができるのです。そんな経験を積み重ねることが、結果的に文部科学省が提唱している「生きる力」を育むと言ってもよいでしょう。

小6は、小学校最後の学期になりますので、できれば中学校にあがる前に科目ごとの総復習をしておきたいものです。それもただ単に小6の学習範囲のものを復習するというのではなく、できれば小4くらいのものから始めるのがよいでしょう。特に社会と理科は単元の重複がありませんので3年分のまとめが必要です。1年分を1カ月で復習するとして最低でも3カ月かかりますので、ぜひ今月から始めてください。中学に入れば学習内容もぐっと難しくなり、新たに英語も加わりますので、ゆっくり小学校の学習内容を復習する時間はないと思ってください。やるなら今しかありません。

今春高校入試をひかえている中3は別にして、中1ならやはり英語と数学を中心にした2学期までの復習を目標にすることをお薦めします。どちらの教科も積み上げ式のものなので、今きちんと復習しておけば、進級してからはとても楽です。

数学は、やはり方程式がポイントになります。この単元は高校入試にも必出のもので、これからの数学の勉強のベースとなるものです。数学全般の復習が終わったら、方程式の単元はちょっと掘り下げて、応用問題にまで手をひろげてみましょう。

英語は、前にもふれましたが、文法事項の理解よりもまず英文に慣れることです。教科書のレッスンの各セクションの下にある基本文型の暗唱につとめましょう。文型の数は40くらいですからそれほど苦にはならないはずですが。

中2は、理科と社会に重点を置いた復習が効果的です。どちらの教科も分野が分かれていますので、短期の攻略目標にするには最適です。たとえば、社会なら「地理」と「歴史」はほぼ学習が終わっているわけですから、1月にはそのどちらかのまとめをしてあげればよいのです。

以上述べてきたのはほんの一例ですが、ぜひみなさんに合った目標作りをしていただきたいと思います。



12月に図書券をゲットした人

岩本優斗 西川瑞歩 塩見梨紗 佐々木博章(2枚)